

被疑者・被告人の身柄拘束の在り方

1 勾留と在宅の間の中間的な処分について

(1) 考えられる制度

(制度を検討するに当たって議論すべき事項)

- 処分の内容
- 要件
- 勾留との関係
- 対象事件の範囲
- 処分の期間

(2) 検討課題

- 罪証隠滅の防止を確保する方策
- 逃亡の防止を確保する方策
 - ・ 被疑者の捜査機関への出頭を確保するための措置
 - ・ その他逃亡の防止を確保するための措置
- 起訴後についても中間的な処分を設けることの要否・当否

2 身柄拘束に関する適正な運用を担保するための指針となるべき規定について

(1) 考えられる規定

(規定を検討するに当たって議論すべき事項)

- 身柄拘束に関するどのような事項を対象とすべきか
- 規定の内容をどのようにすべきか

(2) 検討課題

- 規定の法律上の効果
- 現行法の解釈・運用への影響
- 刑事手続に関する諸原則との関係